

## Ⅱ. 結果の要約

### 1 出生数は減少

出生数は 5,514 人で、前年の 5,732 人より 218 人減少した。

出生率（人口千対）は 6.1 で、前年の 6.3 を下回った。

合計特殊出生率は 1.43 で、前年の 1.43 と同率であった。

### 2 死亡数は増加

死亡数は 12,930 人で、前年の 12,610 人より 320 人増加した。

死亡率（人口千対）は 14.3 で、前年の 13.8 を上回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 25.5 %、16.1 %、12.5 %となっている。

### 3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 7,416 人で、前年の△ 6,878 人より 538 人減少した。

自然増減率（人口千対）は △ 8.2 で、前年の△ 7.5 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

### 4 死産数は減少

死産数は 91 胎で、前年の 111 胎より 20 胎減少した。

死産率（出産千対）は 16.2 で、前年の 19.0 を下回った。

### 5 婚姻件数は減少

婚姻件数は 3,264 組で、前年の 3,527 組より 263 組減少した。

婚姻率（人口千対）は 3.6 で、前年の 3.8 を下回った。

### 6 離婚件数は減少

離婚件数は 1,442 組で、前年の 1,529 組より 87 組減少した。

離婚率（人口千対）は 1.59 で前年の 1.67 を下回った。

※表中の数値は、四捨五入による数値のため、端数において合計が一致しない場合がある。

### 7 「Ⅳ 統計表」の過去の数値について

平成 16・18・21～29 年の統計表について、厚生労働省から修正の報告があったため、修正が生じた箇所には下線を引いている。